

ほけんだより

2月

令和8年2月3日

養護教諭

宮野 紘代

インフルエンザB型が流行しています

糸島市内の小中学校ではインフルエンザB型のため学級閉鎖を行う学校が多くでています。先週は、本校でも、インフルエンザB型の感染拡大防止のため、学級閉鎖を行ったクラスがありました。



可也っ子げんきビンゴ大会をしました！

保健委員会で、感染症予防についてのポスターを作りました。

そのポスターをろう下などにはり、感染症予防の意識を高め、予防に取り組みます。そこで、多くの人たちにポスターを見てもらえように、ポスターを探した後に見つけたポスターに書かれている番号をビンゴカードに書くビンゴ大会を行いました。



参加した子供たちに、保健委員会が作った健康お守りカードを渡します！

休み時間には、多くの子供たちが、楽しそうにビンゴに参加していました！

「ビンゴになったよ～！」の声をいっぱい聞くことができました！感染症予防をして、冬も元気にすごしてほしいと思います。

薬物乱用防止教育をしました！

5年生・6年生では、学校薬剤師の先生から、薬の服用についてや薬物について、お話をいただきました。5年生では、「薬物」についてお話を聞き、「誘われた時の断り方」を考え、実際に練習をしました。6年生では、現在問題となっている「オーバードーズ（市販薬の多量服用）」について、お話を聞き、「薬物・酒・たばこ」について子供たちからの疑問や質問に答えさせていただきました。



～子供たちの感想～

- 市販の薬でもオーバードーズなど危険なこともあると知り、これから自分で管理することが多くなってくるので薬の使い方などを見直すきっかけになりました。
- 大麻などの危険な薬物に手を出してしまわないように、自分の心や体を大切に、相談することや制御できるようになっていきたいです。
- 薬など多く飲めばすぐ治るということではなく、量をちゃんと守って飲むことが正しい事だとわかりました。これから大人になっていくのでちゃんと心がけていきたいです。